



見て聴いて、そして体験

公民館まつり

公民館を中心に活動しているサークルや主催講座の皆さんが集まり、2月24日(日)に公民館まつりが行われました。絵画や生け花、陶芸などの作品が展示され、来場者はじっくりと鑑賞を楽しみました。パンフラワーや山野草、きりえなどの体験コーナーへも多くの人が参加し、コツを教わりながら、一生懸命に取り組んでいました。また、館内ではスタンプリィが行われ、子どもたちが夢中になって集めていました。

大ホールでは、舞踊やダンス、演奏や合唱、民謡など芸能発表が行われ、日ごろの練習の成果を舞台上で披露しました。ラストは、町の観光大使も務める浪曲師・玉川奈々福さんが特別出演し、創作浪曲などを上演しました。軽妙な語り口で、満席の観客からは笑いが起き、浪曲の世界に引き込まれていました。

地元特産品で楽しく手作り

ケーキ作り&ウィンナー作り



ふれあいセンターで、農村ふれあい塾主催の東庄産いちごを使ったケーキ作りが2月16日(土)に、東庄産SPF豚を使ったウィンナー作りが3月2日(土)に開催されました。

ケーキ作りでは、ご家族で参加した方も多く、協力してスポンジや生クリームを作り、楽しくデコレーションをしました。

ウィンナー作りでは、羊腸にパーティを詰める作業などを講師の皆さんに教わりながら、いろいろな味のウィンナーを作りました。



いちごが甘くておいしい〜! ケーキづくりは、飾り付けがとっても楽しかったです。思い通りにできました。

参加者/高根 樹里さん 亜央依さん



羊腸を器具に取り付ける作業が少し難しかったです。子どもと楽しんで出来ました。試食のウィンナーもおいしかったです。

参加者/越川 温子さん 結仁さん 統仁さん



講師/石毛 京子さん

ケーキ作りで大切なのは、分量をきちんと量るなどの下準備。身近な材料で作ることができますし、アレンジもできますよ。いろいろないちごのデザートを作ってみてください。



ウィンナー作りのポイントは、空気が入らないように詰める、沸騰しない温度で茹でる、食べるときは、少し焦げるくらい焼くと良いですよ。店舗もできますので、お立ち寄りください。



講師/田谷ミートセンター
ジョエルさん 清水さん 田谷さん 大野さん



3月の風に想いをのせて

東庄中学校 卒業証書授与式

春を感じる穏やかな日差し中、3月12日(火)に東庄中学校で卒業式が行われました。先生方や来賓、保護者、在校生など多くの方々に見守られ、101人の生徒が新たな一歩を踏み出しました。

式典では、卒業生が引き締まった緊張の面持ちで入場。一人一人の名前が呼ばれ、卒業証書を受け取りました。また、須藤校長が「情熱をもって何ごとにも本気で取り組み、たくましく未来を切り開いてほしい」と、卒業生にはなむけの言葉を述べました。

送別の歌「そのままの君で」「さよなら友よ」や、卒業の歌「3月9日」が体育館に響くと、想いをのせた歌声に会場では涙ぐむ姿も見られ、別れを惜しむ感動の卒業式となりました。



みんなで上を向いて歩こう

ハートフルコンサート

人気アーティスト4組による宝くじ文化公演ハートフルコンサートが、2月23日(土)に町公民館で開催されました。

最初に登場した花*花の二人が代表曲「あ~よかった」を歌うなど会場を盛り上げ、次に山根康広さんが「Get Along Together」を力強く歌いあげると、ボルテージはさらに上がりました。平松愛理さんは「部屋とYシャツと私」などを披露。CMソングの「La La, Smile」では、会場一体となって振り付けし、合唱しました。最後に尾崎亜美さんが「オリビアを聞きながら」などをしっかりと歌い上げました。

トークでも東庄のいちごや豚肉の話題に触れるなど、観客を楽しませ魅了し、フィナーレでは、出演者全員と観客と一緒に「上を向いて歩こう」を熱唱。「とても贅沢な時間でした」「楽しかった」と、皆さん大満足の様子でした。



シェイクアウト訓練

3/11(月)

東日本大震災から8年。大震災が発生したと想定のもと、「まず低く、頭を守り、動かない」の順に、命を守る安全行動を実施するシェイクアウト訓練が行われ、町内では1,618人が参加しました。

神代小学校では、卒業式中の地震を想定し、児童は体育館の椅子の下に身をかがめました。頭を隠し、じっと動かずに先生の指示に従って、身の安全を図りました。



橘小児童が大賞

2/17(日)

旭いとおか文芸賞「海へ」の大賞に、1598点の中から橘小3年生の児童5人組による「楽しい運動会」が選ばれました。

海の生物が運動会を楽しむ様子を、一人ひとりが考え、詩や体を使って表現。「たくさん練習したけれど、当日は不安で緊張しました。発音や間、リズムなどに気を付けて発表しました。賞は取れないかなと思っていたので、とてもうれしい！」と、喜んでいました。



姫路市と花の交流

2/14(木)

笹川小と兵庫県姫路市の糸引地区がお花の交流をしています。きっかけは、昨年11月に糸引地区の植樹イベントで、地元の小学生が風船に花の種を括り付け飛ばしたことです。その風船が風に乗って東庄まで運ばれ、笹川小用務員の嶋田さんが朝の散歩中に発見しました。

笹川小からは、お礼に町の花であるオオムラサキを送り、菅谷校長と嶋田さんは「花のある環境を大切にしたい」と、話されました。